

事業名称	「みる・よむ・体験する」ねりまフォーラム事業		
実行委員会	「みる・よむ・体験する」ねりまフォーラム事業実行委員会		
中核館	ちひろ美術館・東京		
	住所	〒1770042 東京都練馬区下石神井 4-7-2	
	TEL	(03) 3995-0612	FAX (03) 3995-0680
	ホームページ	https://chihiro.jp	
構成団体	練馬区立美術館 練馬区立石神井図書館 練馬区立貫井図書館 練馬区立南田中図書館 特定非営利活動法人手をつなご ねりま若者サポートステーション		
事業開始時点の課題分析	<p>様々な意味での格差社会といわれる現代社会、そこには経済的のみならず、文化的な格差までも含まれている。急速に進行しつつある少子高齢化や、厳しい社会情勢の中で、社会や地域とのつながりから取り残されがちな若者、高齢化が進む状況への視点も忘れてはならない。加えて、このコロナ禍は、社会をさらに大きな困難に直面させている。「ステイホーム」や「ソーシャルディスタンス」で外との交流が絶たれ、孤立化を深め、内にあるのは、大きなストレスにより、「夫と妻」や「親と子」という基本的な人間関係が見つめ直され、残念ながら、多くの家族崩壊も起きている。実際、精神的な行き詰まりを背景にした自死も増えてきている。そうした何重にも困難な時代にあって、求められるのは「心の豊かさ」であり、そのための一つの方法として、いつでも気軽に芸術・文化に触れ、心から楽しむ時間と空間を創出することの意義はこれまでになく大きいと言える。また、練馬区は近隣地域に比べても人口が多く、地域住民がその生活圏において、文化へ触れる機会の創出の意義は大きいと考える。ともに練馬地域の文化的役割を担ってきた美術館、図書館が、それぞれの強みを活かしながら、より広く連携し、子どもの教育の場、生涯教育の場、社会参加の場、ひいては一人一人の心の居場所づくりへと進んでいくことは、練馬はもとより日本が直面する困難な課題の解決に向けた文化的側面からのアプローチであると考え。さらにこうした取り組みは、世界的な潮流とも言える SDGs(※)への一つの解にもなると信じる。</p> <p>※SDGs 目標 4「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯教育の機会を促進する」</p>		
事業目的	<p>昨年度までの文化庁募集事業「練馬発！みんなのミュージアム事業」で中核を担ったちひろ美術館・東京は、「練馬区立美術館」、特定非営利活動法人「手をつなご」(*)と協力し、アート(絵本等の芸術)を通して地域とつながり、子育てを支援する活動に力を注いできた。本応募事業では、これまでの事業活動を通じた知見とネットワークを活かしつつ、さらに区立石神井図書館、区立貫井図書館、区立南田中図書館、「ねりま若者サポートステーション」(**)に共働の規模を拡大し、美術館は絵本などの「アート」芸術分野、図書館は知の「活字」文化分野、各 NPO はワークショップなど人と人をつなぐイベントサポート分野、という互いの強みを活かした共働・連携を図りながら、幼児、子どもから大人、高齢者まであらゆる世代に、芸術・文化を気軽に、いつでも、楽しく「みる・よむ・体験する」、地域に開かれた広場(フォーラム)を創出すること、さらにはこの場所が混迷する社会状況の中で心安らぐ居場所となることを事業の目的とする。</p> <p>*地域で子育て広場の運営等を手掛ける特定非営利活動法人。</p> <p>**社会から孤立しがちな若者たちへの職業的自立支援事業などを続けている団体。</p>		

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展覧会と連動したテーマブックス紹介など、美術館と図書館の連携企画による鑑賞教育活動、絵本の読み聞かせなどの体験型イベントの開催。</li> <li>・ 美術館や図書館と子育て支援団体、若者サポート団体と連携した鑑賞教育活動や体験型イベントの実施による、若者たちへ社会参加の場を提供。</li> <li>・ 鑑賞教育活動の手引きとなる鑑賞ガイドやブックリストの作成と各施設紹介マップの作成による広報周知アクション。</li> <li>・ オンライン形式での講座や水彩技法体験ワークショップなど、あらゆる世代の地域住民とアートをつなぐ活動を展開。</li> </ul>
実施項目 ・ 実施体系	<p>(1) <b>美術館を中心とした鑑賞活動を深めるための事業（みる）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 作品鑑賞ガイドの作成・普及</li> <li>② 親子を対象にした鑑賞会の実施(オンライン形式を含む)</li> <li>③ 作品鑑賞を深めるためのイベント開催（オンライン形式を含む）</li> </ul> <p>(2) <b>図書館を中心とした読書を推進するための事業（よむ）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 美術館と連携したテーマブックスの設置</li> <li>② 美術館と連携したブックリストの作成・普及</li> <li>③ 読書・図書館利用促進のためのイベント開催</li> </ul> <p>(3) <b>社会貢献を目的とした地域での連携事業（体験する）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 美術館・図書館と連携したワークショップ</li> <li>② 美術館・図書館と連携した育児相談・親業講演、保育者派遣</li> <li>③ 本事業と施設の活動を紹介する印刷物・報告書の作成・普及</li> </ul>
実施後の 成果・効果 等	<p>平成 28 年から令和 2 年度までの 5 年間は、子どもを主な対象とした事業に取り組み、成果を上げてきたが、本年度からは実行員会を改組し、より包括的な内容の事業を計画し実行した。ちひろ美術館・東京と練馬区立美術館の近隣にある練馬区立図書館 3 館と、練馬区内で若者の就業支援を行う団体と新たに連携を行った。昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、活動を行ううえでのさまざまな制限を余儀なくされ、先行きが不透明ななか、手探りではあったが、困難な時代のなかで、地域のあらゆる階層の方の要望に応える結果を出すことができたと考えている。「わらべうたあそび」や「あかちゃんと子どものための鑑賞会」は、昨年に引き続きオンラインで開催した。遠隔地からの参加もあり、来館が困難な方にリーチすることができた。新たに図書館を中心とした読書推進事業にも取り組み、図書館と美術館をつなぐスタンプラリーを開催した。期間中は、コロナの感染者数がピークを迎えた時期と重なり、想定より利用者数は少なかったが、子どもたちが安全に配慮して、読書や美術鑑賞に親しむきっかけと、コロナによる外出自粛の気運のなかにあっても、近隣で豊かな時間を過ごすための助けになったように思う。開催館にとっては、子どもたちの元気な顔が見られることが大きな励みとなった。図書館と連携した事業では、大人を対象にした講演会も行った。成人が地域に求める文化的な活動への潜在的な要望は大きく、コロナ禍でさらに増大しているように思う。そうした要望は、講演会終了後に、会場に留まり、設置した書籍を熱心に手に取る方たちの姿にもあらわれていた。また、就労支援団体を利用する若者たちが美術館でのワークショップに準備段階から関わって成果を上げることもできた。就労の道を探る若者たちは自身を社会の周縁部にいると考えてしまう傾向にあるが、美術館の職員と連携し、主体的に参加者と関わることで、自信を持つことで成果を上げ、良い循環をつくることができた。今年の活動を足がかりとして、今後もより包括的な活動に取り組んでいきたい。</p>

## 【事業実績】

### 「みる」 美術館を中心とした鑑賞活動事業

保護者とともに参加する鑑賞会や、感性をそだてる「わらべうたあそび」の会などを開催し、親子の学びの場とした。また、展覧会に関連した講演会を開催し、作品世界への理解を深める機会とした。

#### ●あかちゃんと家族の鑑賞会

2021年8月8日(日)・10月23日(土)・2022年2月20日(日)対象：0～2歳児と家族 参加者：54名  
@練馬区立美術館

#### ●鑑賞プログラム「トコトコ美術館」

2021年7月30日(金)31日(土)・10月16日(土)・17日(日)・12月11日(土)・12日(日)  
2022年3月5日(土)・6日(日)対象：3～6歳の未就学児+保護者 参加者：166名 @練馬区立美術館

参加者の声「2回目の参加です。工作が楽しいようで、今回も作品作りに集中して取り組みました。」「小さい子どもと一緒に絵を観る機会もなかなかなかったので楽しかったです。」

#### ●あかちゃん・子どものための鑑賞会（オンライン）

2021年12月12日(日)対象：0歳児～小学生と保護者 参加者：36名 @ちひろ美術館・東京  
(講師：富田めぐみ) オンライン鑑賞会の参加者向けに配信した動画を、イベント終了後に一般公開した。

参加者の声「子どもの興味関心を垣間見られただけではなく、ちひろの子どもを想う気持ちに触れ、同じ親として暖かい気持ちになりました。」「コロナ禍、また乳児連れということで美術館に実際に足を運ぶのが難しい状況でのオンラインでの鑑賞会は非常にありがたかったです。」

#### ●あかちゃん子ども鑑賞会サポーター講座（オンライン）

乳幼児と保護者にむけた育児支援活動の実施に際し、参考となる講座を開催した。2021年11月2日(火)・11月5日(金)対象：美術館・図書館・就労支援団体関係者 参加者：23名 (講師：富田めぐみ)

#### ●わらべうたあそび（オンライン）

2021年6月5日(土)・9月4日(土)・10月30日(土)対象：0～2歳児と保護者 参加者：62名  
@ちひろ美術館・東京 (講師：服部雅子)

参加者の声「オンラインの環境でも、先生が参加者一人一人に声掛けして下さり、コミュニケーションを取りながら参加できました。」「講座内容は、子どもだけでなく親にとっても助けになりました。」



あかちゃんと家族の鑑賞会



トコトコ美術館



あかちゃん・子どものための鑑賞会



わらべうたあそび

#### ●赤羽茂乃講演会「赤羽末吉の旅と絵本」

美術館と図書館が連携し、開催中の展覧会への理解を深める講演会を、図書館を会場に行った。石神井図書館で行った講演会を他の2館の図書館にオンラインで同時上映し、各会場で赤羽末吉の世界を楽しんだ。

2021年6月27日(日)対象：一般 参加者：61名 @石神井図書館(28名)・@貫井図書館(24名)  
・@南田中図書館(9名) (講師：赤羽茂乃)

参加者の声「解説と共に、映像資料をたくさん見せて下さり、見ごたえがありました。」「赤羽末吉の人柄や当時のエピソードが盛り込まれていて、手元にある絵本を読みたくなりました。」



赤羽茂乃講演会

## 「よむ」 図書館を中心とした読書推進事業

図書館と美術館が連携し、制作物を通して、アートと読書を楽しむ発信活動を行った。また、読書推進の取り組みとして、絵本の歴史をひもとく講演会を開催した。

### ●図書館・美術館をつないだスタンプラリー

ちひろ美術館、練馬区立美術館、石神井図書館、貫井図書館、南田中図書館の5館をめぐる「ぐるりん 絵と本 スタンプラリー」を開催した。

### ●親子で楽しむ美術鑑賞ガイド

美術鑑賞ガイドを作成、美術館、図書館で来館者が自由に手に取れるようにしたほか、区内の幼稚園・保育園・小学校などに配布した。

### ●アートを楽しむブックリスト

アートへの入り口となるブックリストを、大人向けと子ども向けの二種作成し、美術館、図書館で来館者が自由に手に取れるようにしたほか、区内の小学校、中学校などに配布した。



スタンプラリー 美術鑑賞ガイド

ブックリスト (大人版・子ども版)

松本猛講演会

### ●松本猛講演会 「絵本 歴史ものがたり」

2021年12月12日(日) 対象：中学生以上 参加者：28名 @石神井図書館 (講師：松本猛)

参加者の声 「絵本の歴史は興味深い話でした。絵から物語を読み取る楽しさを知ることができました。」

## 「体験する」 地域の支援団体との連携活動

美術館と就労支援団体を利用する若者たちが連携したワークショップ活動を行った。若者たちが企画段階から参加し、美術館と共働して、展覧会に関連した子どもたち向けのワークショップを実施した。

### ●馬場のぼる展関連ワークショップ ねりま若者サポートステーション×練馬区立美術館

「みんなで11ぴき！四コマねこワールド」

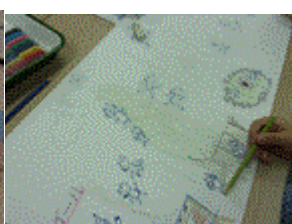
2021年8月6日(金) 対象：小学生 参加者：22名 @練馬区立美術館

(講師：ねりまサポステ馬場のぼるワークショップ制作委員会)

参加者の声「子どもたちの発想に感心しました。」「協力すれば困難でもなんとかできるものだと思います。」「最後まで続ける中で、自分が役に立てる場面もあるかもしれないと思うようになりました。このメンバーの一員になれたことがうれしい。」

### ●馬場のぼる展関連ワークショップ 練馬区立美術館×貫井図書館「つながるつながるマラソン大会」

2021年8月7日(土) 対象：小学生以上 参加者：18名 @練馬区立貫井図書館



馬場のぼる展 美術館ワークショップ

馬場のぼる展 図書館ワークショップ